

デイベートをしよう

○単元の目標

- ・物事を多様な視点から考えられる。
- ・複雑な内容を相手にわかりやすく伝えられる。
- ・相手の説明を聞いて論理的に批判できる。

○学習後の感想、疑問点の解消、新しく知ったことやできるようになったことを箇条書きで三つ以上書こう。( 月 日)

○目標達成度

物事を多様な視点から考えられた。

できた( 3 ・ 2 ・ 1 )できなかった

複雑な内容を相手にわかりやすく伝えられた。

できた( 3 ・ 2 ・ 1 )できなかった

相手の説明を聞いて論理的に批判できた。

できた( 3 ・ 2 ・ 1 )できなかった

デイベートをしよう

セルフデベート審査用紙 (40分)

論題 動物園や水族館は存在し続けるべきか。

賛成(A)	検討(B)
理由①	
理由②	
理由③	
検討(D)	反対(C)
	理由①
	理由②
	理由③
結論	

セルフデベートの振り返り

感想、新しく知ったこと、できるようになったこと、新しい疑問点を箇条書きで三つ以上書こう。( 月 日 )

デイベートの実際

これからデイベートの音声を流します。テーマは「うどんとラーメン。日本の代表的な国民食はどちら？」です。あなたは審判として、どちらの勝ちだと思いますか。以下、メモに使ってください。

① うどん側の立論

② ラーメン側の質問

③ うどん側の回答

④ ラーメン側の立論

⑤ うどん側の質問

⑥ ラーメン側の回答

⑦ ラーメン側の反駁

⑧ うどん側の反駁

⑨ うどん側の最終弁論

⑩ ラーメン側の最終弁論

ジャッジ

評価項目		うどん側			ラーメン側		
最終弁論	① 論理的か	5	3	1	5	3	1
	② 論拠は明確か	5	3	1	5	3	1
	③ 表情や言葉遣いは適切か	5	3	1	5	3	1
データ	① 内容は適切か	5	3	1	5	3	1
	② 分析は十分か	5	3	1	5	3	1
	③ うまく活用できたか	5	3	1	5	3	1
態度	① メンバーは協力していたか	5	3	1	5	3	1
	② 積極的に交換が持てたか	5	3	1	5	3	1
勝敗決定のポイント							

今回のデイベートの勝者は)

です。

デイベート①の振り返り

感想、新しく知ったこと、できるようになったこと、新しい疑問点を箇条書きで三つ以上書こう。( ) 月 ( ) 日 ( )

以下のディベートを読み、あなたならどのようにジャッジしますか。テーマは「電車やバスの優先座席は必要である」で、肯定側は「優先座席は必要である」という立場で、反対側は「優先座席は不要である」という立場です。自分が納得させられた箇所には傍線を、不適切な発言だと思った箇所には波線を引きます。読んでいきましょう。

① 肯定側の立論

私たちは、電車やバスの優先座席は必要不可欠であると考えます。

② 反対側の質問

反対側です。肯定側にお伺いします。先ほど「優先座席は、座席が必要な方が他の乗客に気兼ねなく座れる空間を提供する」と仰いました。怪我をしている方、乳幼児連れの方など、立ち続けることが困難な方々にとって、座席の確保は移動の質を大きく左右します。優先座席は、座席が必要な方が他の乗客に気兼ねなく座れる空間を提供することができるのです。

③ 肯定側の回答

ご質問ありがとうございます。「気兼ねなく座れる」という点については、具体的なデータとして提示することは難しいかもしれませんが、

④ 反対側の立論

第二に、優先座席は社会的な配慮と共生の意識を育む役割を果たします。特定の座席を優先指定することで、健全な利用者が弱者を思いやる心を自然と持つよう促し、公共の場におけるエチケットやマナーを向上させる効果があります。

⑤ 肯定側の質問

第二に、優先座席は実際には十分に機能していないことが多々あります。優先されるべき人がいても、健康者が座り続けているケースや、逆に優先されるべき人が遠慮して座れないケースも見受けられます。形骸化している制度は、設置する意味が薄いと云わざるを得ません。

⑥ 反対側の回答

第三に、優先座席があることで、必要以上に「譲るべきかどうか」というプレッシャーを生み出し、乗客間の不必要な緊張感を高めています。本来に必要としている人がいれば、優先座席の有無にかかわらず、自然と席を譲るのが人としての当然の行いです。むしろ、優先座席があることで「優先座席以外は譲らなくていい」という誤った認識を与えている可能性すらあります。

⑦ 肯定側の反駁

まず、肯定側が「社会的な配慮と共生の意識を育む」と主張しましたが、それは本質的な解決ではありません。優先座席がなくても、社会全体で他者への配慮が自然にできるような倫理観や教育こそが重要であり、単に座席を設けるだけでそれが育まれるとは限りません。むしろ、優先座席があるから「わざわざ譲ってあげた」という上から目線の意識を生む可能性すらあります。

⑧ 反対側の反駁

次に、「実際には十分に機能していない」という主張ですが、これは制度自体の問題ではなく、一部の利用者のマナーの問題です。優先座席があることで、多くの人が意識して席を譲っている事実を無視すべきではありません。機能していないケースがあるからといって、制度そのものを否定するのは極論です。

⑨ 肯定側の最終弁論

肯定側です。反対側の主張に反駁します。まず、反対側が「優先座席は差別を生む可能性がある」と主張しましたが、これは誤解です。優先座席は差別ではなく、むしろ配慮の具体化です。すべての人に全く同じ環境を提供することが「平等」なのではなく、異なるニーズを持つ人々に、そのニーズに応じた配慮をすることが真の平等です。例えば、バリアフリー設備が差別だと言えらるでしょうか？それは違います。

⑩ 否定側の最終弁論

肯定側です。反対側は、優先座席が「機能していない」と仰いましたが、それならば、例えば駅のホームで白線から内側に入るよう促す表示やアナウンスも、従わない人がいるから不要だとおっしゃるのでしょうか？優先座席が完璧に機能していないからこそ、その存在が公共空間における意識を喚起する役割を果たしています。また、「不必要なプレッシャーを生み出す」という意見ですが、席を譲るという行為は、本来ポジティブな行動であり、それをプレッシャーと感じる方がいるとすれば、それは社会全体の配慮がまだ不足している証拠です。優先座席は、その不足を補うための重要なきっかけとなり得ます。

評価項目		うどん側			ラーメン側		
最終弁論	① 論理的か	5	3	1	5	3	1
	② 論拠は明確か	5	3	1	5	3	1
	③ 表情や言葉遣いは適切か	5	3	1	5	3	1
データ	① 内容は適切か	5	3	1	5	3	1
	② 分析は十分か	5	3	1	5	3	1
	③ うまく活用できたか	5	3	1	5	3	1
態度	① メンバーは協力していたか	5	3	1	5	3	1
	② 積極的に交換が持てたか	5	3	1	5	3	1
勝敗決定のポイント							

今回のディベートの勝者は) (です。

ディベート②の振り返り

感想、新しく知ったこと、できるようにしたこと、新しい疑問点を箇条書きで三つ以上書こう。( ) 月 日)

感想、新しく知ったこと、できるようにしたこと、新しい疑問点を箇条書きで三つ以上書こう。( ) 月 日)

デ イ ベ ー ト を し よ う 五

デイベートをしよう

テーマ 「安楽死を認めるべきか」

まず、両方の立場でテーマについて考えてみましょう。賛成側は「安楽死を認めるべきだ」と主張し、反対側は「安楽死を認めるべきでない」と主張してください。

賛成	理由①	理由②	理由③	検討	理由③
				反対	理由②
				理由①	理由①

① グループで意見をまとめて、立論を作ろう。(理由は2つ) 10分

② 相手側がここに質問をひとつ書きます。8分

③ 質問に答えよう。7分

④ 相手側に反駁しよう。10分

⑤ 相手の反駁に反論しよう。10分

⑥ 生成AI(Gemini)のジャンジ。

ディベート③の振り返り  
感想、新しく知ったこと、できるようになったこと、新しい疑問点を箇条書きで三つ以上書こう。( ) 月 ( ) 日